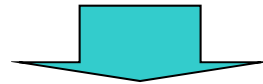


全市共通ノーレジ袋ポイント事業「カンパスシール」 - 1

カンパスシール導入の経緯

平成18年7月の家庭ごみ収集制度見直しで
一層のごみの減量化・資源化を達成



更なるごみの発生抑制(リデュース)
を推進するため

レジ袋削減に取り組むことに
(平成18年12月開始)

全市共通ノーレジ袋ポイント事業「カンパスシール」 - 2

カンパスシールの仕組み

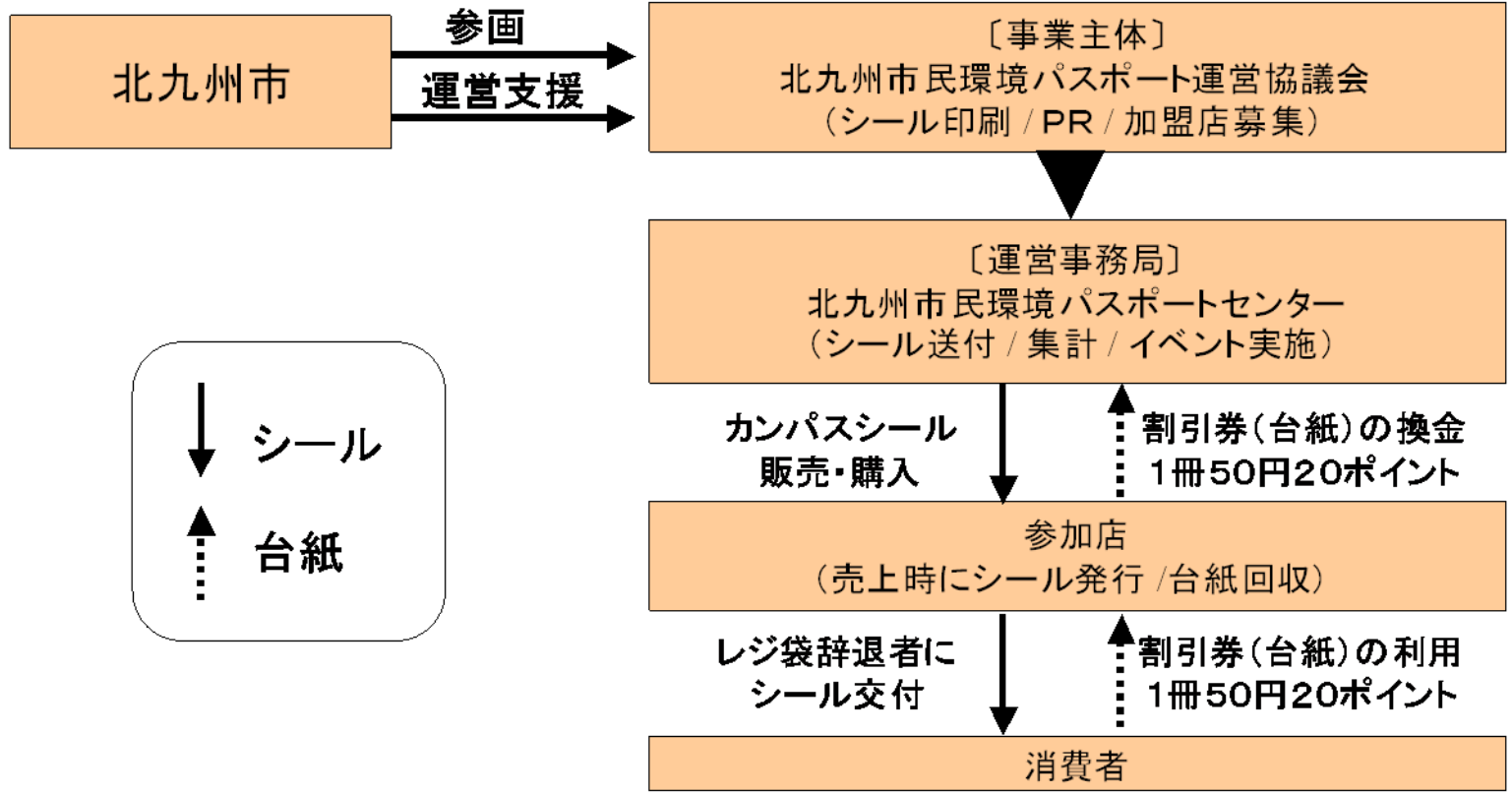
カンパスシール参加店でお買い物するとき、
レジ袋を断ると、ポイントシールがもらえます。
20ポイント集めると、参加店共通の50円割引券に！！！！



北九州市内で1年間に使用されるレジ袋の枚数は、約3億枚。
200リットル入りのドラム缶2万8千本もの石油が原料として使われています。

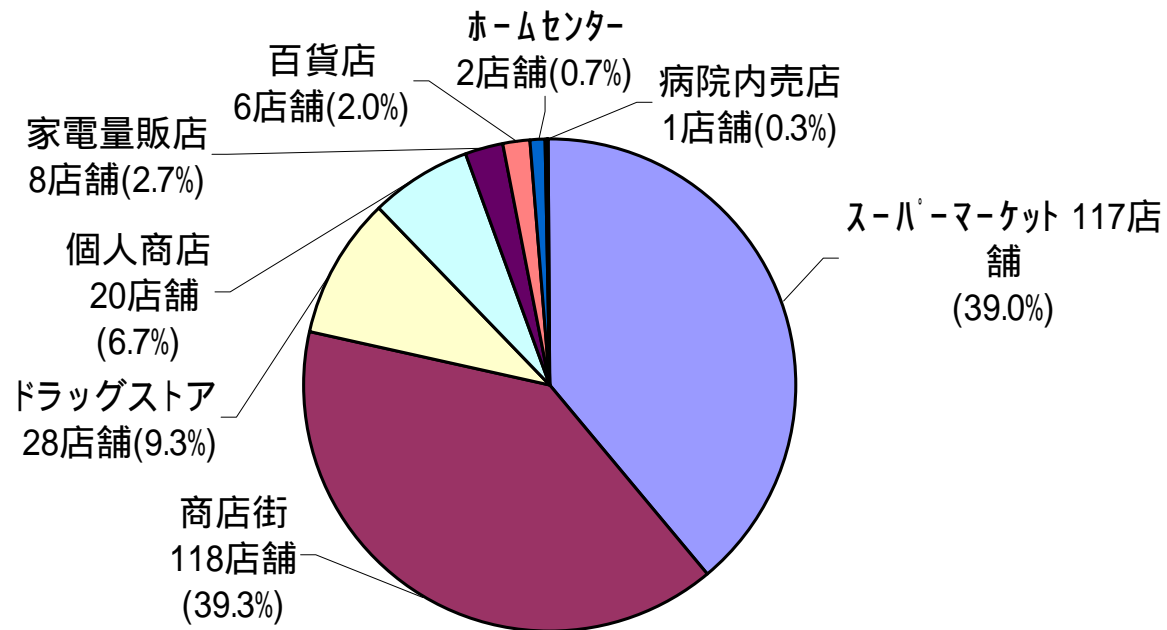
全市共通ノレジ袋ポイント事業「カンパスシール」 - 3

運営体制



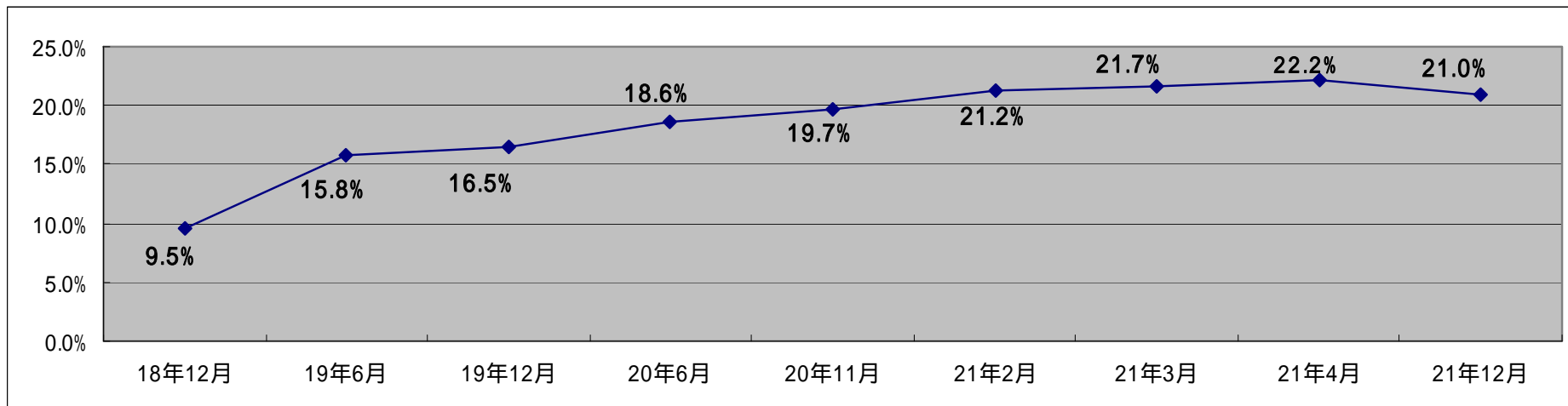
全市共通ノーレジ袋ポイント事業「カンパスシール」 - 4

参加状況（平成21年12月現在）参加店舗300店舗



全市共通ノーレジ袋ポイント事業「カンパスシール」 - 5

レジ袋お断り率の推移 (シール発行枚数 / レジ通過客数)



スーパーマーケットのお断り率平均は23.7% (H21.12月度)

全市共通ノーレジ袋ポイント事業「カンパスシール」 - 6

カンパスシール事業の効果

平成21年12月までに約5,300万枚のシールを参加店が購入。

すべて発行(使用)された場合、5,300万枚以上のレジ袋を削減。

CO₂
約3,180トン
(60g × 5,300万枚)
削減

レジ袋1枚で60gのCO₂の発生を抑制と換算

約23万本からなる276万m²の杉の森林が
1年間にCO₂を吸収する量に相当。

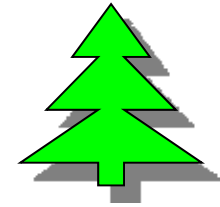


杉1本の年間CO₂吸収量14kg、森林における杉1本
当たりの平均占有面積12m²として算出。

全市共通ノーレジ袋ポイント「カンパスシール」事業 - 7

これまでにレジ袋削減以外でのシール活用した事例

植樹会や清掃活動の参加者への配布



省エネ家電()、蛍光ランプ購入者への配布
(統一省エネラベルの星の数に応じて)

環境関連イベントでの
環境活動者への配布